

淨願寺だより

希望

R2冬No.13

遠方にお住まの、門徒さんから定期的にお香近況を聞かせてほしい、との
ご要望があり、このたび、淨願寺だよりとしてお寺をより多く身近な出来事を
取りまとめてお知らせしようと思ふます。夏冬二回発行を予定しています。

令和二年一月二十九日発行

編集責任者

淨願寺住職 関 秀法

あなたに逢えてよかつた
あなたには希望の匂いがする
つまずいて傷ついて泣き叫んでも
さわやかな希望の匂いがする

和田アキ子さんの歌う「あの鐘を
鳴らすのはあなた」の一節です。

私は「希望」という言葉を聞くと、
学生時代に読んで今も楔のようにな
心に打ち込まれている一冊の本を思
い出します。

ヴィクトール・フランクルの著書
「夜と霧」。第二次世界大戦下の
ナチスドイツの強制収容所で起きた
虐殺の悲惨さと、そこで生きた人間
たちの姿を心理学者の目から克明に
記録した名著です。

数日にひとかけらのパンと水のよう
なスープ、劣悪な環境で労働を強い
られ、飢えや病で動けなくなると物
のようにガス室に運ばれる。それがい

つ終わるとも分からず毎日延々と
繰り返される…。そのような絶望
的な状況下で、生きる事を放棄し、
ただ死を待つだけの者もいる、またそ
れでもなお、豊かな人間性を保ち
続けた者もいる。その違いはいつたいど
こから生まれるのか…。

フランクルは、生き残った者はみ
な何かしらの「希望」を持つていた、
と言います。家族であったり、仕事で
あつたり、信仰であつたり、内容はそ
れぞれですが、それを思うことによ
て自分の精神を今の状況から自由
にしてくれる何かを持つていたと。死
んでいた人たちの中でも、「希望」
を持ち続けていた者だけが、最後ま
でモフルを保ち、他人が生きること
を助けようとしたり、人間としての
尊厳を守つて死んでいくことが出来
たと言います。

一方、「希望」を失つた人間が、
精神的にも肉体的にも、いかにもろ
く、あつといつ間に崩れ去るものかと
いふことも、フランクルは詳細に記し
ています。

私たちは人生100年時代を迎
えたと言われています。長寿は嬉し
い事ですが、それは老いや病の期間
がどんどんと長くなり、生きる事の
意味を何度も自分自身に問いかず
必要に迫られる事もあります。

不思議な事です。病や困難を得
て、ますます利己的で粗暴になる人
もいます。同じ困難を得て、人が変
わつたように周囲に感謝を示し、深
くおだやかな人間になる人もいます。
その違いはいつたいど、からやつてくる
のでしようか。

私は以前、南無阿弥陀仏の念佛
が私たちに与えようとするのは、つま
るところ「希望」なのだと教えられた
ことがあります。命終えて仏になら
せていただくといつ希望への苦しみ
や悲しみが、私を仏にしてくれよう
としているのだといふ希望。また必ず
懐かしい人とも、お浄土で再開でき
るという希望…。

これを非科学的な空想の産物と
笑うことは簡単です。しかし、繰り
返しになりますが、収容所の中で
最後まで人間性を失わず、尊厳を
保つて生き抜くことが出来たのは、
このささやかな「希望」を失わなかつ
た人たちだけでした。

私たちは人生100年時代を迎
えたと言われています。長寿は嬉し
い事ですが、それは老いや病の期間
がどんどんと長くなり、生きる事の
意味を何度も自分自身に問いかず
必要に迫られる事もあります。

収容所の中ではフランクルは自暴
自棄になりつある仲間たちをこう
鼓舞したと言います。

私は以前、南無阿弥陀仏の念佛
が私たちに与えようとするのは、つま
るところ「希望」なのだと教えられた
ことがあります。命終えて仏になら
せていただくといつ希望への苦しみ
や悲しみが、私を仏にしてくれよう
としているのだといふ希望。また必ず
懐かしい人とも、お浄土で再開でき
るという希望…。

私たちの人生には「希望」が必要
です。ここに来ると不思議と希望が
湧いてくる、そんなお寺を皆さんと
作つて行けたらと思ひます。

代表総代 竹下與作氏

退任のご挨拶

お寺の掲示板より

私のような者が代表総代という大役を仰せつかりましたが、皆様のおかげで、なんとか四年の任期を務める事が出来ました。途中体調を崩し、他の総代様方には「迷惑をおかけしました。しかし、こうやつてまたお寺参りが出来ますのも、皆さまのおかげ、ご先祖様のおかげと感謝を致しております。

寺院を取り巻く状況は、昔とはずいぶん変わっていますが、とにかく、お寺にできるだけ多く参らせてもらい、「先祖様への崇敬の想い」をこれからも大切にしていただきたいと思います。

私が子供の頃にあった淨願寺の託児所が、今のまいづき法座や写経、念佛奉仕などの活動につながっているのだと思います。これらの地道なお寺の活動をどうかこれからも皆さんとの協力で支えていただきますようにお願い申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。

令和2年1月26日総会にて

諸事中
戎行精進
一日誠實
懸命こともって生き

凡終不悔

悔ることなし

讃仏偈意訳



門徒の広場

門徒の広場はWEB版ではご覧いただけません。

浄土真宗本願寺派
篠尾山淨願寺

〒620-0925
福知山市上篠尾725
電話(0773)-22-5280
email jyouganjiweb@gmail.com
http://www.jyouganji.com

住職 関 秀法

編集後記

子供の頃、三国志が好きでよく本を読んでいました。群雄が武勇や知略で天下を治めようと割拠する中で、主人公の劉備だけは「人徳」をもって乱世を生き抜こうとします。徳は人の心を動かし、時に武智ではできぬ大仕事をすることを知りました。四年間代表総代を勤めてくださいった竹下與作様、あらためて、「人徳」の持つ力を教えていたいたように思います。本当に、ありがとうございました。

みんなの声から生まれた新しいかたちのお墓です。



ふるさとの杜 墓苑
永代供養墓

www.furusatononomoriboen.com